

### 運輸安全マネジメントへの取り組み実施状況に関する調査票

当社における運輸安全マネジメントへの取り組み実施状況に関し、下記の通り報告致します。

認定セミナー受講日	令和 元年 2月19日
認定セミナー受講番号	0 7 2 0 1 9 2 7 0 1
事業種別	0 0 0 4 0 9
保有車両数	1.トラック 2.乗合バス 3.貸切バス 4.ハイヤー・タクシー
営業所所在地(管轄運輸支局)	8 面(事業を兼業している場合は調査票を分けてご記入ください) (営業所が所在する全ての管轄運輸支局名を記入してください)

項目	内容
安全方針	安全優先・法令順守、安全管理体制の構築及び定着
輸送の安全に関する目標	有実事故 0 する。
輸送の安全に関する計画	①極小路すれ違いは確実に止まる。②二輪車の死角接近は最徐行をする。③有実事故50%削減 2件にする。
安全投資	クラウド プライヴァーダー全車装備

項目	内容
1 経営トップの責務	車内スクリーンに当該事故映像を放映周知に努める。
2 安全方針	自車事故撲滅を方針とする。
3 安全重点施策	前年度の事故状況を反省し、次年度改善に反映させた素案を経営会議で承認
4 安全統括管理者の責務	当事者にドライヴ研修機関にて再確認研修を受講させる。
5 要員の責任・権限	全営業所に事例周知。再発防止に努める。
6 情報伝達及びコミュニケーションの確保	社内向け携帯にeメールにてタイムリーに連絡、コミュニケーションとす
7 事故、ヒヤリ・ハット情報の収集・活用	年2回の安全会議と実車訓練に反映させる。
8 重大な事故等への対応	安全会議時、DVD等を活用 外部指導員にサンプル映像を教材に勉強。
9 関係法令等の遵守の確保	労務関係時間の管理を重点に厳守につとめる。
10 安全管理体制の構築・改善に必要な教育・訓練等	年数回の外部教育セミナー(トラック協会主催含む)に参加
11 内部監査	内部監査の教育は外部監査機関(書類管理等)研修トレーニングにて実施。
12 マネジメントレビューと継続的改善	前年度の安全会議にて(インシデント)検証と2月 9月の経営会議でマネジメントレビューを実施。

#### 事故発生状況の推移

年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 1年度
交通事故件数	3	1	1	2	2
有実事故	0	0	0	0	0
死者数	0	0	0	0	0
負傷者数	0	0	0	1	1
車両数	43両	43両	43両	46両	46両
総走行キロ	24万キロ	22万キロ	19万キロ	24万キロ	25万キロ

※( )内は国土交通大臣報告事故(重大事故)件数を内数で記載すること。

送付先

MSTUAK-RECORD@mlt.go.jp